

(様式1)

平成 26 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 117	提案機関名 横浜市漁業協同組合
要望問題名 貝類増養殖の技術開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 横浜市漁協では平成19年度から資源回復計画に参加し、シャコ資源等の回復に努めてきたが、今後対象水産生物の多様化を図り、安定した漁業経営が求められている。貝類養殖は水域の環境改善にもつながり、富栄養化した東京湾には適した漁業と考えられる。東京湾にあった貝類養殖(ホタテガイ・タイラギ)の技術指導をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	タイラギ養殖は、これまでの試験により、春から秋にみられる貧酸素水塊等の影響により成長抑制やへい死が発生して、東京内湾で取り組むには難しい種であることが分かってきました。現時点では、一時休止したほうがよいと考えます。 ホタテガイは東京内湾では秋～春期の海水温であれば養殖が可能と考えられますので、この期間で半生貝から商品サイズまで成長させる養殖試験の実施について支援していきたいと考えます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			